

第3章 高齢者等の実態調査結果

第3章 高齢者等の実態調査結果

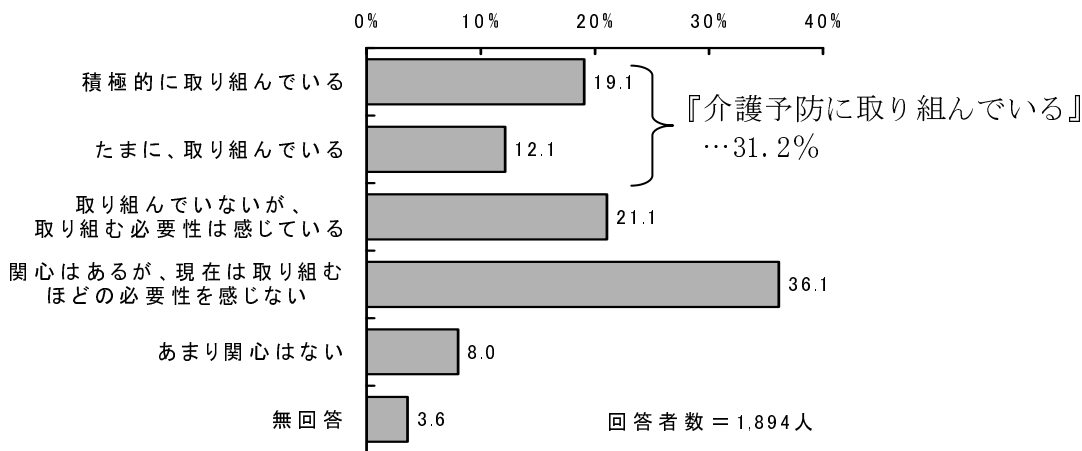
1 介護予防について

介護予防の取り組み状況について、『介護予防に取り組んでいる』割合は、要介護認定を受けていない第1号被保険者（65歳以上）において、約3割となっています。

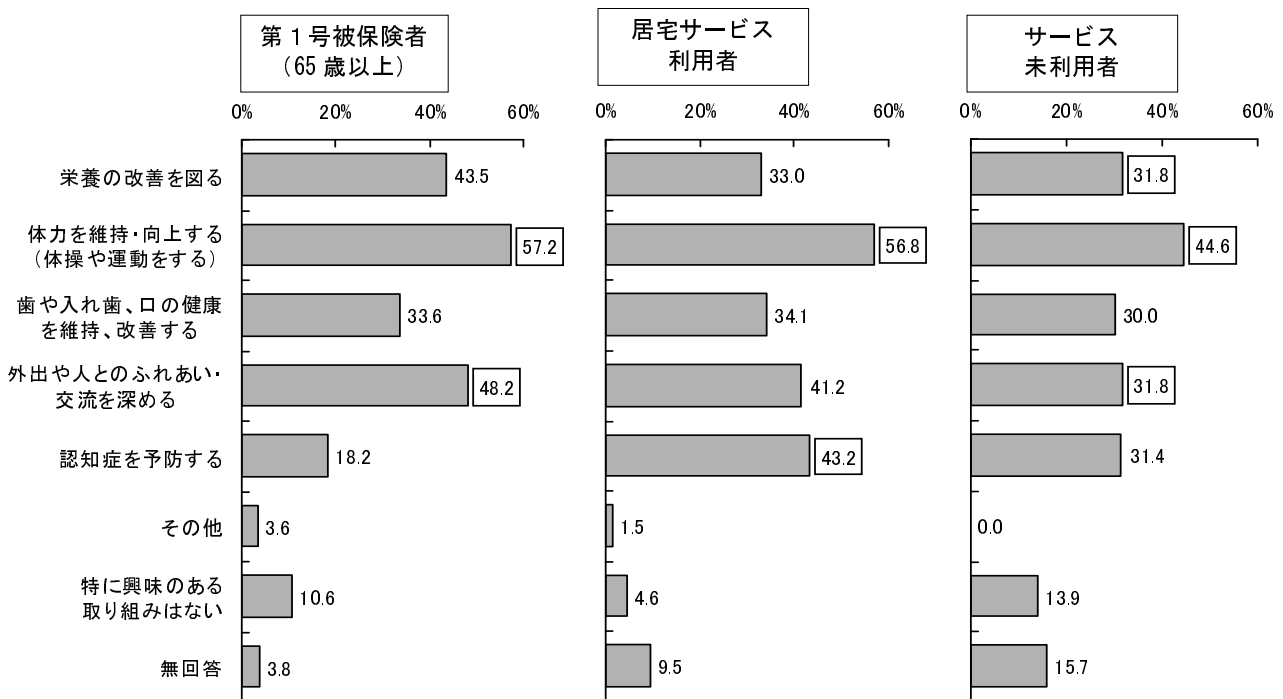
また、興味のある介護予防の取り組みは、「体力を維持・向上する（体操や運動をする）」「外出や人とのふれあい・交流を深める」が、関心の高い取り組みとなっています。

図表 3-1 介護予防の取り組み状況（単数回答）

第1号被保険者(65歳以上)



図表 3-2 興味のある介護予防の取り組み



※：□ 囲みは、それぞれの上位2位の値。

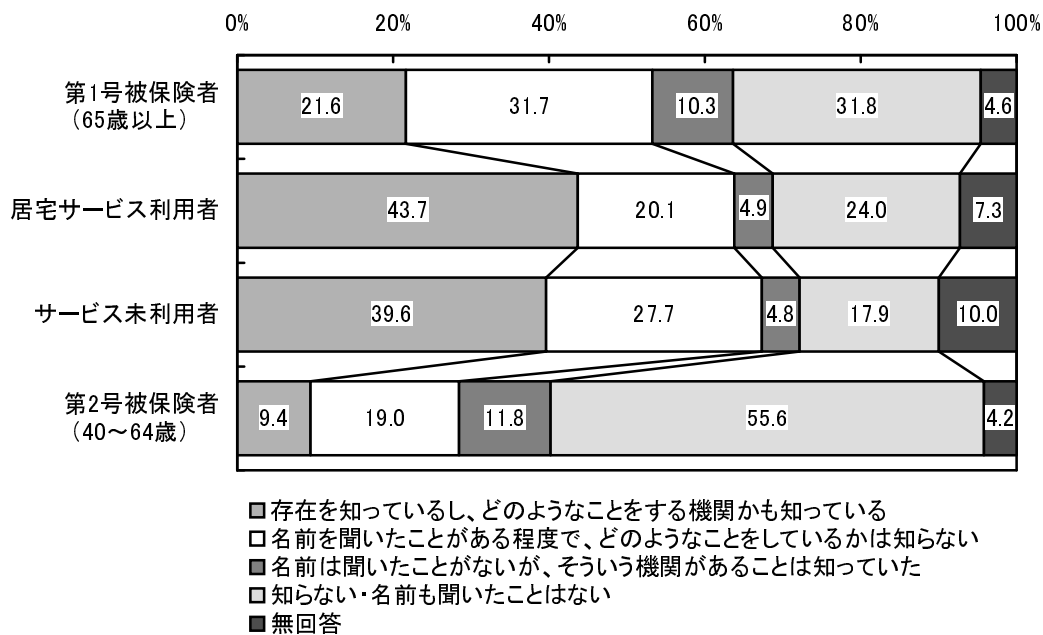
出典：「平成22年度 大田区高齢者等実態調査報告書（平成23年3月）」

2 さわやかサポート（地域包括支援センター）について

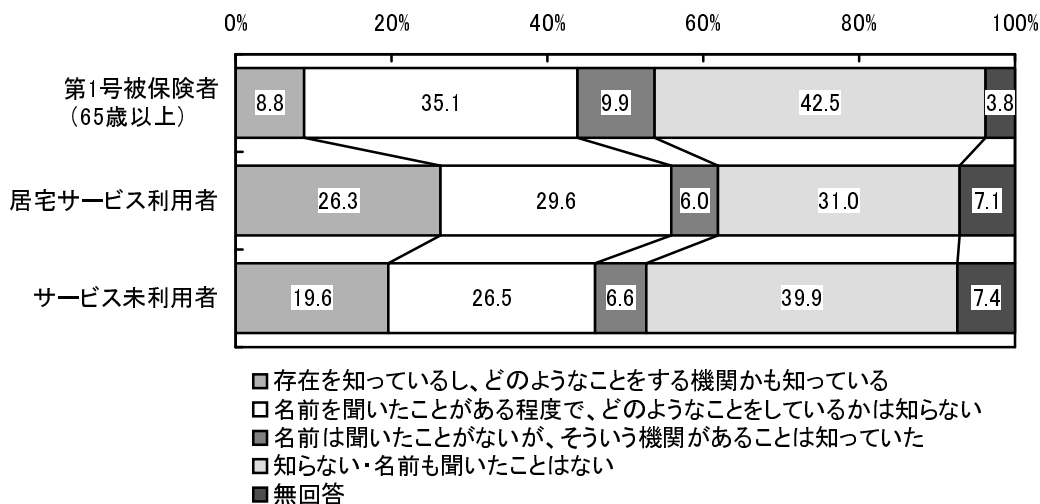
さわやかサポートの認知度について、平成19年度の調査結果と比較すると、「存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている」割合は、第1号被保険者（65歳以上）、居宅サービス利用者、サービス未利用者のいずれも前回調査を上回っており、この3年間で、さわやかサポートの認知度は高くなっています。

第2号被保険者（40～64歳）においては、「知らない・名前も聞いたことはない」が5割台と最も高くなっています。

図表 3-3 さわやかサポートの認知度



図表 3-4 さわやかサポートの認知度＜前回（平成19年度）調査＞



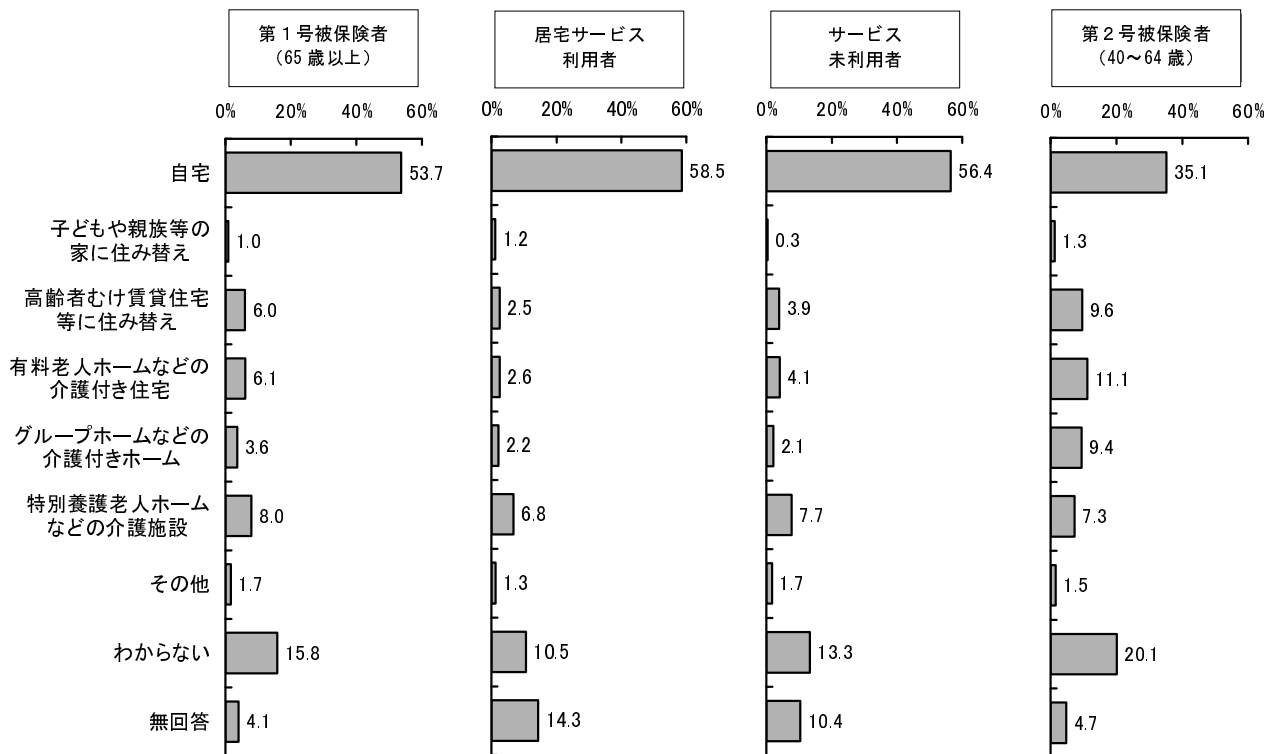
出典：「平成22年度 大田区高齢者等実態調査報告書（平成23年3月）」

3 今後の意向

今後希望する暮らし方について、第1号被保険者（65歳以上）、居宅サービス利用者、サービス未利用者は、5割台と過半数が「自宅」で暮らしたいと回答しています。

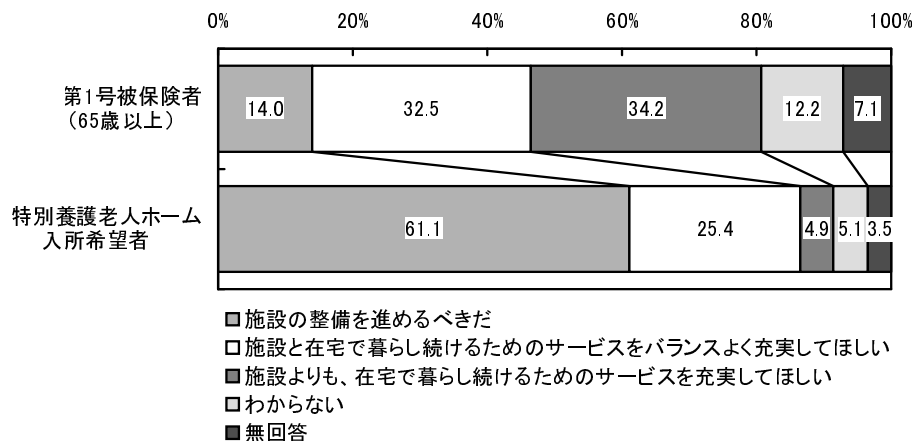
また、介護サービスの整備に対する考え方について、第1号被保険者（65歳以上）では、「施設よりも、在宅で暮らし続けるためのサービスを充実してほしい」「施設と在宅で暮らし続けるためのサービスをバランスよく充実してほしい」の割合が3割台と高く、特別養護老人ホーム入所希望者では、「施設の整備を進めるべきだ」がもっとも高い6割台となっています。

図表 3-5 今後希望する暮らし方



※：『自宅』＝「自宅で、主に介護サービスなどを利用したい」＋「自宅で、主に家族や親族に介護をしてもらいたい」。

図表 3-6 介護サービスの整備に対する考え方



出典：「平成22年度 大田区高齢者等実態調査報告書（平成23年3月）」

4 安心して生活するための条件・要望

在宅で安心して暮らすための条件として、「24時間必要に応じて、ヘルパーや看護師が来てくれる」が全ての対象者において、高い割合となっています。

また、区が取り組むべきこととして、「家族介護者の身体的・精神的・経済的負担の軽減」「気軽に相談ができる体制の整備」「特別養護老人ホームなどの施設の増設」が多く要望としてあげられています。

図表 3-7 在宅で安心して暮らすための条件

	第1号被保険者 (65歳以上)	居宅サービス利用者	サービス未利用者	特別養護老人ホーム 入所希望者
24時間必要に応じて、ヘルパーや看護師が来てくれる	52.0	42.1	38.7	56.5
24時間必要に応じて、医師が往診してくれる	42.6	37.5	38.3	44.9
デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる	33.2	37.9	28.3	55.1
配食や買い物、ゴミ出し等の生活面を支援してくれる	25.5	24.4	24.2	24.8
認知症に配慮した介護サービスが整っている	18.1	20.6	16.5	42.5
段差がないなど住まいの構造や設備が整っている	19.5	18.2	19.2	30.8
介護や医療費に対する経済的負担が軽減される	39.7	34.7	30.6	49.5
困ったときにいつでも相談できる場が身近にある	30.3	29.7	31.5	32.7
声かけや見守りをしてくれるなど地域の支えがある	15.8	17.2	16.6	22.0
家族が理解・協力してくれる	43.2	39.6	42.5	28.0
その他	1.2	1.4	2.4	11.2
わからない	11.1	5.9	9.2	2.8
無回答	7.3	14.1	10.0	2.8

※：網掛けは、それぞれの上位3位の値。

出典：「平成22年度 大田区高齢者等実態調査報告書（平成23年3月）」

図表 3-8 区が取り組むべきこと

	第1号被保険者 (65歳以上)	居宅サービス利用者	サービス未利用者	施設・居住系サービス利用者					特別養護老人ホーム 入所希望者	第2号被保険者 (40～64歳)
				特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	有料老人ホーム	認知症高齢者 グループホーム		
介護保険制度の啓発・PR	17.8	16.5	17.4	11.6	12.9	6.8	8.4	9.1	15.9	20.3
気軽に相談ができる体制の整備	50.4	46.0	51.4	28.1	38.6	37.0	31.1	35.1	38.9	53.0
介護予防対策	29.1	21.5	24.7	16.5	22.9	21.9	15.3	18.2	18.8	32.5
事業者の質の向上や不正行為の防止	31.0	25.9	25.6	22.9	30.0	27.4	30.0	28.6	28.1	25.0
ケアマネジャーやホームヘルパー等の人材の育成	29.9	36.8	27.7	32.5	30.0	30.1	37.4	49.4	32.3	28.6
特別養護老人ホームなどの施設の増設	34.8	43.3	45.2	61.8	68.6	54.8	57.9	70.1	82.6	30.6
地域生活を24時間支える介護サービスの整備	43.8	44.9	38.9	24.5	32.9	43.8	36.8	44.2	38.1	39.5
地域全体で介護を支援するしくみづくり	19.1	21.6	21.8	17.7	20.0	23.3	16.3	22.1	20.0	22.6
家族介護者の身体的・精神的・経済的負担の軽減	51.3	56.9	54.9	46.2	58.6	56.2	52.6	53.2	67.7	48.5
その他	0.8	1.4	1.5	1.6	2.9	5.5	6.8	6.5	5.1	1.9
わからない	6.9	4.9	6.2	16.5	2.9	5.5	3.7	2.6	2.7	9.6
無回答	6.7	7.3	6.5	3.2	1.4	2.7	0.5	1.3	2.0	4.7

※：網掛けは、それぞれの上位3位の値。

出典：「平成22年度 大田区高齢者等実態調査報告書（平成23年3月）」